

さんよう

27号

H29.3.31発行



同窓会より
デジタルサイネージを
贈呈しました。



平成29年度 山陽同窓大会のお知らせ

日時 平成29年7月22日(土)
16時30分より

会場 リーガロイヤルホテル広島
TEL 082-502-1121

16:30 ~
・古典落語 古今亭菊丸 クリスタルの間
18:00 ~
・式典 ロイヤルの間

会費 6,000円
(平成23年度卒業以降の方は3,000円です)

申込締切日 平成29年6月24日(金)

お問い合わせ 山陽同窓会事務局
広島市西区観音新町4-12-5
TEL 082-232-9156
FAX 082-232-2497
E-mail dousokai@sanyo.ed.jp



古今亭菊丸



同窓会会員の皆様方には、日頃から会の運営にご理解とご支援を頂き厚くお礼申し上げます。

山陽高等学校は本年4月に、1907年(明治40年)4月に石田米助翁が広島市宝町に中学校を設立して以来110周年を迎えます。学園の歴史と伝統の重みを痛感いたします。

4月19日には山陽高等学校で元カーブ監督の山本浩二氏をお招きしての講演会や110周年にふさわしい記念事業を計画しています。皆様の多数のご参加をお待ちしています。昨年4月から、故岸英雄前理事長の熱い思いの「山陽ドリム」という魂を市原則理事長が引き継がれました。生徒、教職員、PTA、同窓会、理事が一丸となって実現させるためのリーダーシップをとられています。学園の未来が明るくなることを確信しています。

山陽高等学校は2011年4月に男女共学化での初の入学式を行います。

した。昨年12月には女子サッカー部が創部6年目にして全国大会に出場するなど、女子部員の活躍も期待されます。また、進学実績におきましても有名私立大学へ合格者が出るなど向上しており、まさに文武両道で成果が上がっています。

同窓会活動も同窓生の親睦を図るためにだけの組織ではなく、社会に貢献できる事業を行う必要があると思います。山陽高等学校がビジョンとして掲げる「広島未来をつくる」項目のひとつに「地域の教育環境への貢献」がありますが、ともに実現したいと考えます。

具体的には同窓会が法人格を取得して、スポーツ・文化の振興に貢献できる給付型の経済支援を考えています。

さて、今年度の同窓大会は創立110周年の節目として大会を盛り上げ、記念に残るような企画を行いたいと思います。来る7月22日(土)、リーガロイヤルホテル広島で開催を予定しています。昨年同様、各クラブのOB・OG会をはじめ、同期会、各支部、先生を囲む会、最近の卒業生などのテーブルもご準備するほか、女子の会員の皆様も参加しやすいように女子のテーブルもご準備いたします。楽しい会になるように企画を進めております。是非多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。今年度も会員の皆様方のご支援とご協力をお願いし、併せて益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

学校法人 広島山陽学園

理事長 市原則之

(昭和35年 普通科卒)



“心のレガシーを”

広島山陽学園110周年を祝し
我が広島山陽学園は今年めでたく110周年を迎えることとなりました。

まずは、開学に尽力された学祖、石田米助翁に深甚なる敬意を表し、あわせて今日の歴史を積み重ねてこられた歴代の理事長、校長ほか多くの学園関係者に対し、心から感謝を申し上げます。

「天地八万物ノ逆旅ニシテ光陰ハ百代ノ過客ナリ」という李白が遺した有名な漢詩がありますが、この110年の歴史の中で、山陽学園という旅籠(はたご)に、沢山の若人が草鞋(わらじ)を脱ぎ、幾多の足跡を宿帳(やどぢょう)に記してきました。

世の中はあらゆるものが縁でつながっているといわれていますが、同じ学舎で過ごした同窓生は山陽という縁で結ばれて、社会のさまざまな分野で、この強い絆が活動の糧となっているものと思います。

不肖、私も山陽高校に入学し、ハンドボール部に誘われたのが縁で、素晴らしい師と出会い、終生の友を得ることができました。

卒業後は企業に身を置きながら競技者から指導者の道に進み、オリンピックや世界選手権など数多くの国際競技大会に参加することができました。

そして、2020東京オリンピック・パラリンピックの招致委員会メンバーとして、招致成功に携われたという本当に幸せなスポーツ人生を歩ませていただきました。

しかし、こうした道のりも決して平坦ではなく、数知れない困難に直面しました。

そんな時、思い出すのは「我が心の故郷」山陽高校のグラウンドでした。

真夏の太陽の下、流れ出る汗をも拭えることができず、また、凍てつくような冷気の中で、痺れる手を暖めることのできず、師の止まない愛の叱咤の中、歯を食いしばり、ただ一つのボールを追い続けた苦しい練習の日々。私は何度も逃げ出そうかと思いましたが、しかし、逃げ出せなかったのはチームメイトの激励と温かな友情があったからでした。

このことが、私の「心のレガシー」として、胸の中に今でも強く生き続けております。

この110周年という記念すべき年が、同窓生それぞれが母校で培った「心のレガシー」を糧として、さらなる歴史のスタートの年となるよう祈念いたします。



平素より母校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。山陽高校は創立一〇周年という歴史と伝統を受け継ぎ、地域社会で中心となって活躍する人材の育成をすすめて山陽高等学校の同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、まいります。

本校は平成二八年四月より岸前理事長に代わり市原則之新理事長が就任されました。新理事長を中心に「山陽ドリームの実現」を目標に、勉強においても、またクラブ活動においても高い実績を誇ったかつての山陽高校の復活を成し遂げるため、より一層の教育内容の充実を図かり、広島を代表する高校の一つとして、地域に無くてはならない学校を目指しています。

さて、少子化が進む中、将来的に生徒確保が厳しくなることが予想されます。この私立高校においても生き残り、かけこみ学校を推し進め、様々な改革を推進し、選ばれた魅力ある学校づくり」に努力しています。そのような中、今回は山陽高校の改革も含め、皆様にこの一年間の本校の近況についてご報告いたします。

一つ目は、創立一〇周年記念事業として建設が始まった待望の新校舎建設が完成し、竣工式が平成二八年八月二五日に行われました。

二学期より新しい校舎の下で新学期をスタートさせることが出来ました。

新しい恵まれた環境の下、生徒は最大限頑張る、山陽の新たな歴史を築いてくれております。今現在、旧来使用していた五棟の学習棟のうち三棟の校舎の解体も始まりました。今後はその跡地に新たに運動関連施設を整備することになっております。

二つ目に、学校の近況について報告させていただきます。校外との教育連携も積極的に進めており、広島国際大学、環太平洋大学、吉備国際大学、岡山理科大学、広島経済大学、広島修道大学、広島女学院大学と高大連携協定を締結し、大学体験や進路選択において高校と大学との間での密な連携を実現しております。このような改革の成果もあり、地元、広島を大学を中心に多くの生徒が大学進学を夢をかなえています。

また、就職に関しても、公務員関係をはじめ、中電工、パナソニック、日本製鋼所、広島電鉄、西日本旅客鉄道、福屋、そごう西武など、大手・有力企業への内定を次々といただくなど、今年も健闘が光りました。

また、クラブ活動については、女子ハンドボール部、陸上部、ホッケー部が全国大会へと駒を進めることができました。女子サッカー部につきましても、全日本高等学校女子サッカー選手権大会に駒を進めることができました。文化系クラブについても活発に活動が続けており、特に和太鼓部は地域の中学校での演奏活動などを通じて非常に高い評価をいただいております。全国総合文化祭に広島県を代表し出場しています。

入試につきましては、少子化により多くの学校が受験者・入学者を減らす中、厳しい状況はありますが本校はここ数年安定した入学者数となっております。

本校では、今後も魅力ある学校としてさらに発展し、生徒に夢と希望を与えることができる教育を目指して、教職員一同全力を尽くして取り組んで参ります。

以上、学校の近況について述べさせていただきます。同窓生の皆様には、今後ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。衷心より祈念申し上げます。

学園創立 110 周年 記念式典及び記念講演のお知らせ 写真展「活躍する山陽OBの方々」

学校法人広島山陽学園山陽高等学校は本年 4 月に創立 110 周年を迎えます。つきましては下記のとおり記念式典及び記念講演を行います。是非、同窓生の方々、ご父兄の方々もご来場ください。

日 時：平成 29 年 4 月 19 日（水）午後 1 時 30 分～
会 場：山陽高等学校 体育館他
講 演：山本浩二氏 元広島カーブ監督

お問合せ先：山陽同窓会事務局

〒733-8551 広島市西区観音新町 4-12-5

TEL 082-232-9156 FAX 082-232-2497

E-mail dousoukai@sanyo.ed.jp

第三回秋のクラブフェスタ

女子サッカー・ホッケー・ハンドボール・剣道部



昨年の9月22日と11月23日の2日間で〔女子サッカー・ホッケー・ハンドボール・剣道〕部で開催しました。小学生中学生合計170名父兄とOBの方々250名が参加していただき何事もなく楽しい時間が過ごせました。アンケートをさせていただき結果99%の子供さんがまた参加したいと報告をいただきました。今年も秋には第4回秋のクラブフェスタを開催したいと思っています。よろしくお願いいたします。

クラブ活動報告

平成28年度(4月～12月)

ハンドボール部男子

中国選手権：ベスト8

ハンドボール部女子

中国選手権：3位 インターハイ出場

陸上競技部 男子走幅跳

鐘築龍也

中国総体：3位 インターハイ出場

女子走幅跳

梅田夏季

中国総体：3位 インターハイ出場・

国民体育大会・日本ユース出場

ホッケー部

中国総体：3位 インターハイ出場

女子サッカー部

中国選手権：準優勝 全日本選手権出場

和太鼓部

全国総合文化祭

空手道部

中国選手権：3位



一つなげようー 山陽のわ
新OB探訪

◆高校在学中の思い出

昭和33年、翠町中学校を卒業し、当時宝町（現フジグラン広島）にあった山陽高校へ入学しました。フィールドホッケー部の原監督と私の父が飲み友達であったご縁もあり、ホッケー部に入学しました。私たちの年代は、後のオリンピック選手や監督などを輩出した世代で、中学校からプレーした友人も多くいました。私は2年生の時に富山で開催されたインター



ハイ、東京で開催された国体にレギュラーメンバーとして出場、ライトウイングでした。何とか優勝をすることができたことは今でも良い思い出です。しかし、私はわけあって2年生で退部しました。

◆卒業後

高校卒業後は、日本大学の法学部に進学し4年間を過ごしました。原宿の竹下

通り近くに下宿し、ホッケー部の1年先輩とは新宿や渋谷でよく遊んだ（飲み）ことが良い思い出です。大学卒業後は広島に戻り、広島銀行大手町支店に勤務。3年間お世話になった後、父が経営していた材木商に入社しました。昭和56年に当時J.C（青年会議所）で活動していた仲間3名で不動産を扱う（株）ヒスマを設立しました。

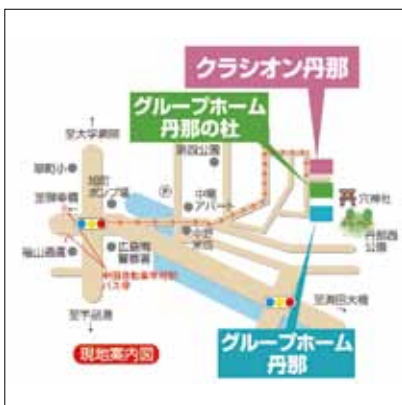
平成になり高齢者の問題も社会的に取り上げられるようになりました。私の祖母も介護が必要となり、住み慣れた愛着のある土地で自ら介護施設の運営を手掛けようと、平成19年に息子と共に「グループホーム丹那」を開設。その後、地域の

要望にお応えして、平成22年にグループホーム丹那の杜」、平成24年にデイサービスや訪問介護事業所を併設したサービス付き高齢者向け住宅「クラシオン丹那」を順次開設し、地域に密着した事業展開をしながら社協、防犯、体協など地域活動に努め、現在に至っております。

◆現在とこれから

約7年前の会合で偶然ホッケーの先輩と再会したことがきっかけで、ホッケースポーツ少年団のお手伝いをするようになりました。約50年ぶりにスティックを握り、子供たちと楽しくプレーをしているうちに、いつの間にかJ.G.M.A（日本グランドマスターズホッケー協会）の副会長や広島市ホッケー協会会長を務めることとなり、高校時代よりもホッケーにのめり込んだ第2の青春を満喫しています。また、グランドマスターワールドカップでは、70歳以上の部代表として2012年のインングランド大会、2014年のオランダ大会、2016年のオーストラリアに出場し、現在は2018年のスペイン大会に向けトレーニング中です。2020年の東京大会まで選手としてプレーできるように頑張っています。

会社案内



会社名 株式会社 ヒスマ
創業 1980年（昭和55年）
住所 広島市南区丹那22番11号
TEL (082) 251-7322
FAX (082) 255-7777
事業内容 宅地建物取引業
広島県知事(9)第5355号
小規模宅地開発 建売住宅販売
所有ビル管理運営
その他 広島北ロータリークラブ会員

会社名 有限会社 バースト
店舗名 クラシオン丹那・クラシオン丹那・クラシオン丹那
役員 相談役：菅雅則
代表取締役：菅泰晶
創業 1989年（平成元年）
住所 広島市東区東白鳥町9-14
TEL (082) 222-2221
URL <http://www.burst.co.jp/>
事業内容 不動産の売買・賃貸・管理及びその仲介事業
グループホームほか高齢者向け福祉事業
陶器の販売業

電報

- 旭日双光章
佛圓 大源
黄綏褒章
岡原 秀登
瑞宝双光章
山下 隆
旭日单光章
茶木 武臣
三次市議 当選
保実 治
安芸高田市議 当選
青原 敏治

- 寄付金20万円
全日制・普通科
昭58 故木村成宏

- 同窓大会の時の知らせ
第一商業
昭17 國森 守
定時制・普通科
昭28 山田 照馬
全日制・普通科
昭25 紺家 逸治
昭28 服部 豊治

会費の納入
おはなご
おはなご
おはなご
会費納入者
H28.4月~H28.11月

- 終身会費納入者
第一商業
昭20 原野 勝彦
定時制・普通科
昭28 岩井 朗

全日制・普通科

- 昭33 山田 経介
昭35 山村 若夫
昭38 重本 義之
昭39 高橋 徹
昭41 尾森 久
昭41 中志貴公宗
昭52 丸山 謙一
昭53 鶴村 修治
昭54 光廣 和也
昭55 川平 和幸
平2 橋岡 優
平2 海部 豊
平7 右近 忠輔
平9 榎本 直也
平19 伊田 一晴
平21 中川 皓太
平24 松浦 史音
平25 住吉 元樹
平28 卒業生216名

全日制・商業科

- 昭25 高橋 信男
昭30 柴北 徳平
昭34 前田 文夫
昭37 梅本 健次
昭37 新谷 光広
昭37 野上 忠司
昭37 梶村南海男
昭37 沢本 哲男
昭44 若岡 春莊
昭47 木坂 孝
昭51 澤村 収二

全日制・情報処理科

- 平21 綿田 義人

全日制・情報会計科

- 平28 卒業生44名

全日制・機械科

- 昭43 藤田 憲治
昭57 岡田 守

全日制・電気科

- 昭39 土井 澄男

年會費から
終身費に充てられた方

- 定時制・普通科
昭31 柿内 幹章
昭32 細田 正博

年會費納入者

- 定時制・普通科
昭25 小中 武志
昭26 松川 正登
全日制・普通科
昭33 高島 靖司
昭43 石田 久満
昭45 澤 幸次郎
昭46 中本 和東
昭47 錫木 康夫
昭47 宇根 弘明
昭56 増田 亮
平12 田代 大督
平21 宗近 優利

全日制・普通科

- 昭33 高島 靖司
昭43 石田 久満
昭45 澤 幸次郎
昭46 中本 和東
昭47 錫木 康夫
昭47 宇根 弘明
昭56 増田 亮
平12 田代 大督
平21 宗近 優利

全日制・商業科

- 昭38 藤井 章
昭40 馬井 雅治
昭40 白井 明
昭60 米田 隆

全日制・機械科

- 昭44 有田 高明

全日制・電気科

- 昭43 迫 隆一

お梅やみ
申し上げます
H28.4月~H29.1月末

旧制中學

- 大正15 島田 正純
昭和2 鎌田 憲栄
昭和3 村上 安人
昭和6 日置 勇
昭和6 山下伊一郎
昭和7 川本 一彦
昭和15 橋本 豊春
昭和16 高岡 聖
昭和16 岩原 豊
昭和18 宇多村一夫
昭和18 反木 正夫
昭和20 魚阪 寛
昭和21 住田 幸彦
昭和23 榎本 栄

- 昭和16 西村 義弘
昭和17 岡崎 隆男
昭和17 谷口 哲
昭和17 寺田 正保
昭和17 平林 明
昭和17 川崎 博美
昭和18 山田 宏
昭和18 村田 大和
昭和18 渡部 公完
昭和18 内藤 徳則
昭和18 福井 光雄
昭和18 八反田亮一
昭和18 香川 昇
昭和18 佐久間春夫
昭和18 山田 宏
昭和19 山本 義範
昭和19 寺尾 義人
昭和19 財間 明
昭和20 八木 一彦
昭和20 木谷 茂雄
昭和20 東 初男
昭和21 大村 勇
昭和21 高木 健治

第一商業

- 昭和16 西村 義弘
昭和17 岡崎 隆男
昭和17 谷口 哲
昭和17 寺田 正保
昭和17 平林 明
昭和17 川崎 博美
昭和18 山田 宏
昭和18 村田 大和
昭和18 渡部 公完
昭和18 内藤 徳則
昭和18 福井 光雄
昭和18 八反田亮一
昭和18 香川 昇
昭和18 佐久間春夫
昭和18 山田 宏
昭和19 山本 義範
昭和19 寺尾 義人
昭和19 財間 明
昭和20 八木 一彦
昭和20 木谷 茂雄
昭和20 東 初男
昭和21 大村 勇
昭和21 高木 健治

全日制・普通科

- 昭24 俵 重雄
昭25 中村 悦雄
昭27 竹原 温之
昭30 加川 博
昭31 寺迫 忠
昭32 重松 宏明
昭33 山口 宗夫
昭34 徳富 實篤
昭34 角川 紘一
昭34 清水 念
昭36 坊田 一昭
昭38 藤谷 健治
昭38 岸 英雄
昭39 藤野三四郎
昭40 渡部 豊
昭41 栗原 哲二

定時制・商業科

- 昭和30 上野 文吉
昭和30 細木 謙治

定時制・普通科

- 昭和24 花谷 正儀
昭和25 佐々木輝海
昭和25 上野 郁男
昭和25 上野 哲雄
昭和26 高山 正勝
昭和27 大島 昌輝
昭和28 中垣 春三
昭和29 中田 益雄
昭和31 原田 一行
昭和33 久保 徳美

第二商業

- 昭和13 竹村 寿
昭和16 新川 文彦

全日制・商業科

- 昭和18 内藤 徳則
昭和26 松野 匡訓
昭和27 飛石 圭一
昭和28 倉本 昭次
昭和29 宮田 利男
昭和29 寺畠 康夫
昭和29 利男
昭和30 佐伯 豊
昭和30 五研本道信
昭和32 八百野正彦
昭和35 渡部基代次
昭和36 三木 正弘
昭和36 脇坂 俊英
昭和37 堀 忠彦
昭和41 水本 美洋
昭和43 船田 博文
昭和48 岩本 広信
昭和49 天満 文雄
昭和57 神田 辰雄

全日制・機械科

- 昭和41 坂本 博文
昭和47 中本 章

全日制・電気科

- 昭和38 大迫 弘行
昭和39 土田 敏捷
昭和45 松本 昌輝



編集後記

今年、山陽高校創立110周年という事で4月19日に記念行事を控えている事もあり、会報27号もいつもより1カ月早い発行となりました。昨年、新校舎の竣工や理事長の交代もあり、新たな10年へ向け船出した1年でした。同窓会からは記念としてデジタルサイネージの贈呈も行い、在校生により良い学園生活を送ってもらうべく様々な支援をしていこうと考えています。現在は旧校舎の解体など学校の風景も日々変わりつつあります。男女共学となり、女子の空手やハンドボール、サッカーなども徐々に力をつけてきました。今後とも同窓会皆様の応援をよろしく願いいたします。



発行
山陽同窓会
〒733-8551
広島市西区観音新町 4-12-5
TEL 082-232-9156
FAX 082-232-2497
http://www.sanyo.ed.jp/